

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス GreenWood			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～	2025年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然豊かな環境を生かし、利用者一人一人がのびのびと参加できる活動を展開している。年中行事の充実や、自然物を使った活動を多く取り入れ、豊かな体験活動を実施している。	保護者への活動内容の周知はもちろん、SNS等を通じて情報発信を行い、障害の有無に関わらず、社会教育活動としての体験活動の重要性を発信している。	法人内他事業において職員研修を重ね、更なる活動内容の充実を図る。また、救命講習及び応急手当講習などの充実も進め、十分な安全対策と職員の資質向上を目指します。
2	「保護者と共に利用者を見守る」というおもいをベースに、保護者が安心して相談できる関係づくりを大切にしている。	信頼関係構築のため、日常的に利用者の発達状況や活動中の姿などを送迎時等に細やかに伝えている。また、定期的な面談の設定や、必要に応じて対面、オンライン、連絡帳、連絡ツール等を使用し、いつでも保護者と職員が意思疎通できる環境をつくっている。	保護者の利便性を考慮し、アプリケーションを使用した介護支援システムの導入を検討している。
3	虐待防止対策はもちろん、利用者の人権を守る事に職員一人一人が意識を向け、障害の有無に関わらずその人の育ちを暖かく見守ることができている。	利用者の精神的・身体的変化が生じた際には、保護者への説明と聞き取りを十分に行い、職員間での情報共有を日常的に行っている。個々の成長に合わせた対応を行っている。	既存の事業所内(法人内)研修だけでなく、今後は外部研修にも積極的に参加し、人権意識の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学前の通所施設(児童発達支援、認定こども園、保育所、幼稚園等)や、放課後児童クラブ、地域の児童センター等の地位事の連携が図れていない。	連携に関して、在学中の学校や他事業所との連携を優先するため、利用者の過去の利用状況を知る機会がない。	現在の発達状況及び今後の目標設定、支援計画作成のため、相談支援事業所との連携を中心に進めていきたい。
2	建物や設備の老朽化により、故障箇所がいくつか見られる。また、バリアフリー機能はない。	「不便の中で生まれるまなび」から、考え工夫する力を身に付けてほしいという法人の考えにより、あえて丁寧に扱わないといけない物や形を設定している部分がある。	老朽化している箇所は早急に修理する。安全に活動できる環境を整えた上で、利用者一人一人に合わせた環境設定を場面に応じて工夫する。
3	ペアレントトレーニングの機会や、保護者が参加できる活動の場を設けられていない。	ペアレントトレーニングに関する知識や技術を持った職員がおらず、実施できていない。	研修に参加するなどしてちい氏や技術を身に付け、今後実施できるよう検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	GreenWood
------	-----------

公表日 2025年 2月 28日

利用
児童数 27 (家庭数 25) 回収数 25 (100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ				
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	1			1	・十分なスペースで活動しています。	ご意見ありがとうございます。基準は満たしていますが、定期的に整理整頓・見直しをし、空間をより効率よく利用してスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19				6	・いつもしっかり付いてもらっています。 ・親が見学などをして見たりしてないので分からない。	ご意見ありがとうございます。職員の配置基準(2人以上)は満たしたうえで、より適切に対応するためさらに配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	2			1	—	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	24				1	・いつも清潔に保たれています。	ご意見ありがとうございます。利用者が帰宅後に毎日清掃を行っています。今後も環境維持に努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				3	・子どもが先生を気に入ってる様子なので。	ご意見ありがとうございます。今後も1人1人に合わせた支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24				1	—	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25					・先生と面談し報告を受けているので。 ・細かな計画を継続的に作成してもらっています。	ご意見ありがとうございます。今後も保護者の方とこども本人に寄り添い、計画を立ててまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1			3	・先生との面談時に報告を頂いている。	ご意見ありがとうございます。保護者の方にはしっかりとお伝えし共通理解ができるようにしてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24				1	・聞くだけで見ていないので恐らく。	ご意見ありがとうございます。事業所で行った支援内容も随時連絡帳等でお伝えしてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25					・連絡事項が送られてきていて活動内容が被っていた事は今の所ないです。 ・色々なプログラムを作ってください。 ・色々な活動を考えて頂きありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。こどもたちのため、多様な体験活動の機会を今後も提供してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	4		11	—	
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					・丁寧に説明して頂きました。	ご意見ありがとうございます。今後も継続して行ってまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25					・いつもしっかり説明してもらっています。	ご意見ありがとうございます。今後も継続して行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	2		12	—	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	1				・保護者からも伝えますし事業所からも説明して下さいます。 ・連絡帳に様子を詳しく書いて下さっているのが大変ありがたいです。	ご意見ありがとうございます。今後も確実に共通理解ができるよう、情報共有を密に行ってまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24				1	—	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	GreenWood
------	-----------

公表日 2025年 2月 28日

利用
児童数 27 (家庭数 25) 回収数 25 (100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いい		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いい			
保護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22			1	—	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	3	15	・参加したことがない。	ご意見ありがとうございます。保護者の方々が交流できる機会については検討していきます。また、イベント等に関しましては法人内でキャンプ事業などを行っております。積極的に案内してまいりますのでぜひご参加ください。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			5	・申入れをすることが無いためわからない。	ご意見ありがとうございます。ご相談対応の体制を整えておりますので、いつでもご相談ください。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24			1	・意思疎通は出来ていると思います。	ご意見ありがとうございます。今後も精進してまいります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22			3	—	
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		1	—	
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22			3	—	
非常時等の対応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			2	・避難訓練もしっかりしてもらってその説明も受けています。	ご意見ありがとうございます。地震や火災訓練に加え、不審者対応訓練も毎学期ごとに行っております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1		2	—	
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		2	・事故、怪我をしたことが無いためわからない。	ご意見ありがとうございます。事業所での事故や怪我発生時の速やかな対応は今後も心掛けてまいります。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	25				・場所にもお友達にも先生にも安心して過ごしています。	
満足度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	25				・楽しく通っています。	ご意見ありがとうございます。今後も子どもたち、そして保護者の皆様が安心して楽しく利用でき、ご満足いく支援を提供させていただけるよう、職員一同精進してまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	25				・いつも優しく対応してもらっています。 ・子どもも安心して過ごせる空間を作っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		GreenWood		公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースは確保している。定期的に整理整頓・見直しをし、空間をより効率よく利用していく。	今後も継続していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	利用人数や利用者の状況に応じて日々調整している。	職員の配置基準（2人以上）を上回る人員を配置しているが、利用者の増加・利用者の心身の状態によりさらに人手が必要と感じる日がある。人員を増強していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		制作ができる部屋は様々な材料を系統ごとにまとめて置き、おもちゃは遊びができる部屋にのみ置くようにするなど、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいように環境を整えている。	環境維持に努める。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		古くなった机などの設備は定期的に修繕・交換し、安心して過ごせる環境になるようにしている。	環境維持に努める。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者の希望に合わせ、今年度新たに室内に区画を設け、1人落ち着ける空間を作った。	今後も必要に応じて環境を整えていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		事業所内での全体会議等で行っている。	今後も継続していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度無記名によるアンケート調査を実施し、業務改善に努めている。	今後も継続していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内での日常的な意思疎通の充実と、法人本部との面談の機会を設け、年に一度無記名によるアンケート調査を実施し、業務改善に努めている。	今後も継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	—	現在行っていない。今後に向けて法人本部と検討を進めたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内、法人内での合同研修等には職員全員が参加している。また、その他研修案内は毎回閲覧して周知している。	今後も継続していく。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		本事業所だからこそできる支援プログラムを作成し、ホームページにて公表している。	今後も継続していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用者本人や保護者、学校等からも聞き取りをし、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成している。	今後も継続していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ミーティングなどで利用者1人1人について話し合い、多様な視点からの意見を取り入れている。	今後も継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員全員が必ず目を通し、支援できるようにしている。	今後も継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援記録や連絡帳等から確認している。	今後も継続していく。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	GreenWood				公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った支援内容を個々に合わせて作成し、各項目によって支援内容を設定している。	今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当の職員が立案し、複数の職員で案をもとに検討を行っている。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		制作・クッキング・外遊びなどを季節に合わせて毎月内容を変えて取り組んでいる。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの発達状況等や適宜聞き取った保護者の意向に応じて計画を作成し、実行している。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打合せ時にいない職員もいつでも確認ができるように、掲示板や連絡ツールも活用している。	今後も継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		打合せ時にいない職員もいつでも確認ができるように、掲示板や連絡ツールも活用している。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後毎日記録として様子を書き出し、支援が上手くいっているか、以前と変化があったかなどについて職員間で話し合っている。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを実施し、見直しを行っている。	今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		活動の中に「4つの基本活動」を組み合わせ、支援を行っている。	今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分のしたいことができるように自由時間や制作ができる部屋、ごっこ遊びができる部屋等それぞれ確保している。	今後も継続していく。
関係	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参画する職員1人の見方だけにとどまらないよう、会議前に職員からこどもの様子や状況を聞き取ったうえで参画している。	今後も継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて適宜対応ができるように体制を整えている。	今後も継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と下校時刻等の情報共有を行い、予定表などをいただいている。	一部受け取っていない学校もあるため、今後連携を取っていききたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所を継続利用している利用者については、連携の機会を持っている。認定子ども園、幼稚園、保育所は情報共有ができていない。	連携できていない機関については、必要に応じて今後検討していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		GreenWood				公表日	2025年 2月 28日
係機関 や保護者 との連携	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	—	現在直接的な連携を行っていないため、相談支援事業所等を介して今後行っていく予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	—	現在直接的な連携を行っていないため、地域資源の調査を行い、活用したい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	—	外での活動の際に地域のこどもと交流する機会はあるが、放課後児童クラブや児童館との交流の機会はない。今後検討していく。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		他事業所との連携及び、職員の資質向上のため参加している。	今後も継続していく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日常的に、送迎時や連絡帳、電話、その他オンライン連絡ツールを使用し、利用者の発達状況について共有する場を積極的につくっている。	今後も継続していく。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	—	今後企画したいと考えている。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に詳しい説明を行い、必要に応じてその都度説明を行っている。	今後も継続していく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に行う面談及び、日常的な相談の中で、利用者や保護者の意向や希望の聞き取りを行っている。	今後も継続していく。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		事業所が作成した支援計画書を提示し、保護者同意の元、支援を実施している。	今後も継続していく。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談に加え、必要に応じて、事業所や自宅訪問、オンライン面談等で家族支援を行っている。	今後も継続していく。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	—	今後企画したいと考えている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所の苦情対応窓口や苦情対応責任者、行政等の相談窓口を、利用者及び保護者へ伝えている。また、苦情対応は法人全体で行っている。	今後も継続していく。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		日常的にHP、SNSを使った情報発信を行っている。また、連絡帳を活用し、利用者の様子や支援内容について伝達を行っている。	引き続き既存のツールを活用しながら、保護者の利便性を考慮し、支援アプリの導入を検討している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人規定に基づき、細心の注意を払い厳重に管理している。	今後も継続していく。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者及び保護者とのコミュニケーションを大切にし、日常的に情報伝達だけでなく、思いや考えを伝え合える関係づくりに努めている。	今後も継続していく。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		GreenWood				公表日	2025年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	45		○	—	地域を巻き込んだ行事は実施していない。戸外活動中に出会う地域の方との交流は、継続して行う。		
非常時等の対応	46	○		年間を通じて、火災、地震、不審者対応に関する避難訓練を実施している。職員間での意識共有、利用者や保護者への対応の周知を行っている。	今後も継続していく。		
	47	○		大災害を想定した訓練を行い、避難経路の確保、連絡方法の周知など、定期的に見直しを行っている。	今後も継続していく。		
	48	○		保護者より聞き取り及び確認を行い、全職員に情報を周知している。	今後も継続していく。		
	49	○		保護者より聞き取り及び確認を行い、全職員に情報を周知している。	今後も継続していく。		
	50	○		職員に防火管理講習受講者を置き、正しい知識の元、安全計画の作成及び安全管理に努めている。また、定期的に職員研修を実施している。	今後も継続していく。		
	51	○		年間を通じて、火災、地震、不審者対応に関する避難訓練を実施している。職員間での意識共有、利用者や保護者への対応の周知を行っている。	今後も継続していく。		
	52	○		定期的に事故防止に関する会議を開催し、事例の共有と対策を話し合っている。また、再発防止策を出し合い、安全に関する意識の向上に努めている。	今後も継続していく。		
	53	○		定期的に職員研修を実施している。虐待に特化した内容にとどまらず、職員の人権意識の向上に努めている。	今後も継続していく。		
54	○		虐待防止研修と併せて定期的に職員研修を行い、契約時及び面談や日常的な会話の中で、保護者に対策を伝えている。	今後も継続していく。			